

# 全国市街地の変遷

## ——昭和の記憶から次代へ

### 地価は下落続き

としても知られている。

桜井市は奈良盆地の中央南東部に位置し、面積は98・91平方キロで、奈良県総面積の2・7%を占める。奈良市は約20キロ、大阪市は40キロ圏にあり、三輪明神として全国的に有名な我が国最古の神社である大神神社（おおみわじんじゃ）や邪馬台国の女王「卑弥呼」の墓ではないかと言われている箸臺古墳（はしはかこふん）が所在。「三輪そめん」の生産地

が続き、17年地価公示では6万4800円と、設定時と比

### 本町通の再興

本町通は木材産業の最盛期

である昭和40年代には奈良県内3大商店街に数えられていたが、近年は閉店する店舗が増えシャッター商店街となり、現在は明るくするためアーケードが撤去されている。



我が国最古の神社、大神神社の境内

### 市と県で整備計画

そこで桜井市は、官民共同のまちづくり会社「桜井まちづくり」と共同でコミニティカフェ「桜町珈琲店」を本町通りに4月、オープンさせた。これは建築学科の学生による設計提案で、昭和初期の空き家を改修して町家を再現した。空き

べ約70・5%も下落した。地場産業の中でも木材産業は市の経済基盤の一翼を担つてきた産業であり、桜井木材團地は吉野町と共に製材・集成材工場の2大木材團地を形成してきた。しかし安価な外國産木材の輸入、木材価格の下落、林業就業者の減少と高齢化で関連工場の閉鎖が続いた。また、JR・近鉄桜井駅南側の商店街「本町通」の地の、廃業した企業の工場跡地に戸建て住宅や共同住宅が立ち並ぶ地区も増えている。

成材工場の2大木材團地を形成してきた。しかし安価な外國産木材の輸入、木材価格の下落、林業就業者の減少と高齢化で関連工場の閉鎖が続いた。また、JR・近鉄桜井駅南側の商店街「本町通」の地の、廃業した企業の工場跡地に戸建て住宅や共同住宅が立ち並ぶ地区も増えている。

助し、個人がテナントとなつて運営されている。

また、桜井市に本店を置く奈良県内最大の信用金庫「大和信用金庫」は、同商店街本町出張所を外壁などに木材を多用してリニューアルオーブンさせた。今後、2店舗のオーブンを発端として、官民一体で「本町通」の再興を進め、かつての賑わいを取り戻すことが期待される。

## まず県内3大商店街で賑わい復活へ

古墳（はしはかこふん）が所在。「三輪そめん」の生産地

大神神社参道を新資源に

そこで桜井市は、

官民共同のまちづくり会社「桜井まちづくり」と共同でコミニティカフェ「桜

町珈琲店」を本町通りに4月、オープンさせた。これは建築学科の学生による設計提案で、昭和初期の空き家を改修して町家を再現した。空き

を期待している。

今後、市は中心市街地の再開発とともに新たな観光資源の開発を進め、木材のまちから観光のまちへと発展することに奮闘している。

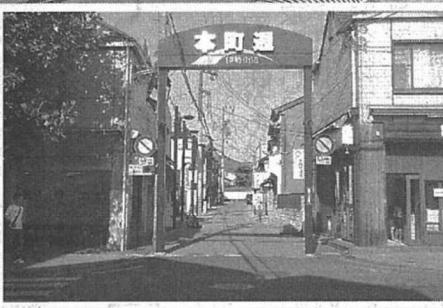
### 奈良県桜井市 木材のまちから観光のまちへ



(上) 桜井駅南口広場

(中) アーケードを撤去した「本町通」商店街

(下) 木材を多用した大和信金の店舗



井市が3分の2を補

所、不動産鑑定士・内田佳宏

家の改修には国と桜

井市が3分の2を補

所、不動産鑑定士・内田佳宏